

令和8年7月9日

大阪府立柴島高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

1 会議日時 令和8年7月9日（木） 15:00～16:30

2 開催場所 大阪府立柴島高等学校 校長室

3 委員

	名前	資格	所属	出欠
会長	森田 英嗣	学識経験者	大阪教育大学 名誉教授	○
副会長	岡崎 鉄彦	地域の関係者	大阪市立淡路中学校 校長	×
委員	表西 貴文	地域の関係者	大阪市新大阪人権協会 評議員	○
委員	三木 幸美	学校運営に資する活動を行う者	とよなか国際交流協会 事業主任	○
委員	坂本 浩子	その他の関係者	元本校後援会会計	×
委員	金山 みさと	保護者	本校PTA 会長	×

4 事務局（学校側）

内田 清彦（教頭） 西崎 嘉仁（首席） 武居 遥子（首席） 藤田 秀樹（事務長）
森田 正良（校長）

5 次第

- 校長あいさつ
- 会長あいさつ
- 運営協議会委員及び事務局員の紹介
- 事務局より報告
 - ・学校経営計画について
 - ・人権教育推進にかかわる年間方針について
 - ・各校務分掌及び学年の年間方針について
- 質疑応答
- 今後の予定

6 会議の概要

○学校経営計画について（校長）

- ・昨年度の第3回学校運営協議会でお示ししたものから大きくは変わっていないので詳細な説明は割愛するが、あらためてご確認をお願いする。中期目標として引き続き「総合学科の学び」「ともに学びともに育つ教育」「違いを認める人権教育・集団育成」を柱にしながら、取組をすすめていきたい。本協議会にて取組のフィードバックとご意見をいただければありがたい。

○人権教育推進にかかわる年間方針について（校長）

- ・学校経営計画と同様、大きくは変わっていない。教職員研修については、例年3回実施しているが、日程の都合により、今年度は2回の開催となる。1回めは、7月21日に、滋賀県で在日コリアンや同和問題に長年かかわってこられた高野真知子さんを講師にお招きする。これは東淀川人権教育研究会の全体研修と重ねての実施となる。2回目は、11月26日に、作家のアルテシアさんを講師として、ジェンダーの課題について学ぶ予定。

○各校務分掌及び学年の年間方針について（事務局）

＜総務・教務・生活指導・進路指導・保健・集団育成・自立支援・各学年の順にポイントを説明＞

- ・今年度も広報活動に注力していく。
- ・PTAについては、今年度から加入方式が変更になったことで、他校では加入者が100名ほど減少したという例もあるようだが、本校はほとんどの方に参加いただけている。
- ・引き続き、多岐にわたる様々な業務についてマニュアル化や作業の透明化をすすめ、個人の負担やスキルに頼るのではなく誰もが担当できるようにして、取組に継続性を持たせていく。また、業務のスリム化やブラッシュアップをはかり、教員の時間外勤務のさらなる縮減をめざしたい。
- ・今年度も重点目標として、いじめを見逃しゼロを掲げている。また、生活指導部長が支援委員会に出席して生徒情報を把握するなど、生徒情報を共有したうえで柔軟な対応や支援を行うよう努めていく。
- ・進路指導については、外部業者とも連携しながら、実力テストや模試を実施するだけでなく分析やふりかえりを行ったり「進路LHR」の内容の充実をはかったりするとともに、進学講習や自習室の活用なども改善をすすめている。
- ・健康管理に関しては、感染症や食中毒に対し、継続的に注意喚起などを行っている。また、健康診断の事後指導として、通院につなげるよう声かけに努めている。保健教育としては、外部講師を招き、学年ごとの講演会を企画している。環境整備については、トイレの洋式化が完了し、教室の内装リニューアルの工事が始まる予定。安全管理については、火災時の対応に向け、避難訓練の卓上リハーサルを計画している。
- ・「学校開き」や「託すHR」など、本校ならではの取組を継続していく。また、生徒会活動を再構築し、生徒の主体性をさらに伸ばしていきたい。
- ・引き続き、アミティエ生と関わる生徒の名前があがる職員室をめざしている。アミティエ生への支援については、卒業後も社会で活躍できるよう、進路先とも連携した取組を行っている。また、中学生の見学が増えており、入学後のミスマッチを減らすためにも、見学会の際にはアミティエ生の普段の様子を見てもらうようにしている。
- ・1年生のスローガンは「守破離」。3年間でのステップアップをめざし、今年度は誰もが安心できるように共通ルールを身につけさせたい。職員室では活発に生徒情報を共有している。
- ・2年生のスローガンは「MAHALO」。自他への敬意を大切にしながら、前に進む気持ちを育てたい。進路についてまだ十分に考えられていない生徒が多いため、進路学習のプログラムを企画。8月6日の登校日は、1年生と合同で、沖縄の文化や歴史についての講演会を予定してる。
- ・3年生のスローガンは「考動」。人権学習を通じて、リーダーの育成をはかりたい。社会的包摂をテーマとしたフィールドワークなども計画している。また、生活基盤を整える自己管理の重要性を意識させる機会をつくっていく。

【質疑応答】

会長) 新転任の教職員は何人か？

校長) 今年は 10 人くらい。

会長) 新しく来た人が学校になじむために何かしていることはあるのか？

事務局) 年度当初に新転任のための研修を実施している。

事務局) 教員ミーティングも行っており、生徒のクラスミーティングと同じような活動を体験してもらっている。他にも、教務関係の研修や人権研修を実施している。

会長) 担任になる人にはどうしているのか？

校長) 本校では、主担・相担として担任業務を共有している。例えば、転任してきてすぐに主担をやってもらう先生には本校での経験年数の長い人を相担につけたり、逆に、初任の先生はベテラン教員が主担をするクラスの相担になってもらったりするなどの配慮を行っている。実際、5月の目標設定面談のときに新転任の方々に様子を聞いたところ、全員が「安心して勤務できている」と話していた。

会長) 年齢層はどんな感じか？

事務局) 30～40 代が多い。

委員) 「語る取組み」をすすめる際、教員は生徒の背景を把握していると思うが、どのようにしているのか？ 個人情報の問題があるので、小中学校では困っているようだ。

事務局) 合格発表後すぐに中学校から聞き取りを行い、そこで得た情報を生徒情報共有会や支援委員会で共有している。

事務局) 各学年に人権担当がいるので、担任が困ったときには相談できるようになっている。学年人権担当は当該学年全クラスの生徒情報を共有している。

委員) そういう体制があれば、生徒を把握しやすいと思う。

事務局) Teams がよく活用されているので、リアルタイムで生徒の様子を知ることもできている。

校長) 個人情報の保護と共有が対立するものとは考えていない。コンプライアンスや守秘義務を大前提として、業務上必要な情報については共有している。このように生徒の情報を学校全体で共有できているのは、本校の大きな特徴であり強みだと思っている。

会長) 支援委員会は週に 1 回、開かれているのか？

事務局) そのとおり。時間割に組込んでいる。

会長) 生徒情報共有会はいつ行われるのか？

校長) 新年度の初めに全教員の参加で実施している。

会長) 生徒情報も Teams で閲覧することができるのか？

事務局) 必要に応じて活用している。

会長) どうやって見るのか？

事務局) それぞれの生徒情報についてリンクを貼って、そこから見に行くようになっている。

会長) 個別の生徒について見たい場合は、すぐにわかるのか？

校長) 生徒情報そのものは SharePoint の中にあり、リンク先からすぐファイルに飛ぶことができる。

例えば、いじめ対策委員会などでも、端末でデータを共有しながら議論している。

会長) いつからそうしているのか？

校長) Teams と SharePoint を使うようになったのは昨年度からだが、別のツールを用いて、以前から同じようなことをやっていた。

会長) 府立高校はどこも同じものを使っているのか？

校長) 府教育庁は Teams を推奨しているが、他校ではあまり活用できていないというような話も聞いている。

事務局) 本校は活用率が高いということで、教育庁から聞き取りされることもあった。

委員) 学校特色枠入試はいつから始まるのか？

校長) 再来年度の入試からになる。

委員) 大阪市教委が実態調査を行ったところ、生活困窮度について、所得が中央値 265 万円の 5 割にも満たない世帯が全体の 15%に上っていた。そのうち、就学援助利用者は 6 割に止まり、4 割は制度に繋がれていないという現状がある。子どもの生活背景を理解しておくことが重要だ。

一方、大阪府は「人権教育推進プラン」の改訂をすすめている。ネットの問題をはじめ様々な人権課題がある中、注視していきたい。修学旅行は沖縄に行くとのことだが、ぜひ胸を張って行ってほしい。以前、韓国の修学旅行のときも丁寧に説明して実施したということも記憶している。いろいろと言う人もいるかと思うが、地域としても応援していきたい。

進路指導については、柴島高校から国公立大学に行けるような、行きたいと思えるような取組をすすめてほしい。また、近隣の中島中学校が国際バカロレアの認定をめざしている。被差別部落や外国にルーツのある生徒がいるような多様性をふまえ、中島中学校で国際バカロレアの教育を受けた生徒が柴島高校に入ることで一体化した取組ができればと思う。

会長) 中島中学校の国際バカロレアは人権教育と関連されているということか。

委員) 多様性の取組が評価され、大阪市全域から募集していることも影響して、候補校になったのではないか。

会長) 認定されるときには、本部からの査察があったり、費用もかかったりするようだが、国際バカロレアの授業は面白いと思う。逆向き設計やルーブリックの活用などについては、柴島高校でも考えてみてはどうか。

委員) 柴島高校の次のステップの一つの案として検討してみるのもよいと思う。

7 今後の予定

○第 2 回学校運営協議会について

11 月 11 日 (水) 14:00~15:30 で開催予定